

子育て世代に選ばれらるまちへ

市では、まちづくりの最重要課題である人口減少問題の克服と地域創生の取組を推進し、「やさしさがこだまする子育て世代に選ばれらるまち」を実現するための基本的計画となる「長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と人口の現状を分析し、将来展望を示す「長門市人口ビジョン」を10月末に策定しました。

策定の背景

我が国の人口は、平成20年をピークに減少に転じ、生産年齢人口の減少による経済活動の縮小や老年人口の増加による社会保障費の負担増など、人口構造の変化への対応が重要な政策課題となっております。

このため、国は平成26年11月に成立した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を同年12月に策定し、人口減少や東京一極集中などの国

における構造的課題の解決に向けた取組を進めています。

長門市の人口は、昭和30年をピークに減少に転じており、平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来人口推計では平成52年（2040年）の長門市の人口を22,087人と予測。また、平成26年5月に民間の研究機関である日本創成会議が示した全国896市町村の「消滅可能性都市」に長門市が含まれるなど、本市にとって人口減少への対応が最重要課題となっております。

以上のことから、本市の特性

を活かした地域創生を積極的かつ集中的に推進するため、「長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

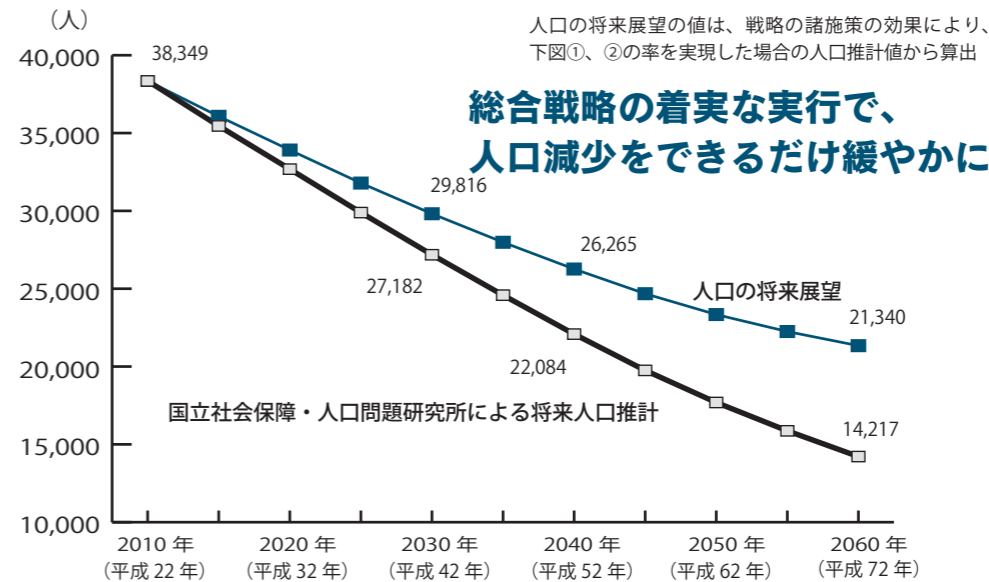
総合戦略の期間

平成27年度～31年度（5年間）

総合戦略の推進体制

市長を本部長とする「長門市まち・ひと・しごと創生推進本部」により進行管理を行い、外部委員による「長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」において毎年度成果検証や意見聴取を行います。

長門市の人口の将来展望（2010年は実績値）



年	推 計 値									
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
①社会減率	0.50	0.42	0.33	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
②合計特殊出生率	1.56	1.71	1.80	1.90	2.00	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

戦略の視点・目標

総合戦略においては、次の3つの視点から現状認識を行い、課題を整理し、それぞれについて目標を設定しました。

戦略の視点1 地域に成長力を生む 取組の創出

本市は、第一次産業従事者の高齢化や後継者不足により、食料品製造業や宿泊業、流通従事者のニーズに対応しきれていないことから、現在取組を進めている「ながと成長戦略行動計画」の事業展開を加速化させ、第一次産業従事者の所得向上と基盤産業としての成長を実現し、本市の産業構造を活かした、「循環型経済」の域内化を確立する必要があります。

また、市外への転出などにより各産業における人手不足は顕在化していることから、成長産業の担い手となる、目標を抱きやりがいを持って働く「人材」を育成するとともに、求人ニーズと求職ニーズのマッチングさせるための取組も必要です。

基本目標1 「つとむ」をつくる

重点施策「ながと成長戦略推進事業」のさらなる加速

取組内容

- 一市一農場の推進、自然栽培米等の供給基地化、長州黒かしのブランド力の向上、長州ながと和牛のブランド化、水産物の安定供給体制づくり
- 販路開拓の推進、「ながと物産合同会社」の司令塔機能の強化、地元直売所の整備など
- 安心・安全な農水産物づくり、循環型農業システム構築
- 仙崎地区・俵山地区・湯本地区などの観光振興
- 後継者・継承者の確保および新規就業の創出
- 地域循環型経済の確立

目標数値
・5年間で550人の雇用を創出

戦略の視点2 人口減少に対する短期・中長期での歯止め

人口減少に対し、経済対策や結婚・出産・子育て支援など複合的な取組による「自然減」への対応と、子育て世代に選ばれ

るまちを目指し、転出などによる人口の「社会減」に歯止めをかける必要があります。

そのためには、魅力的な地域資源（自然、文化、教育環境）を活用するとともに、「結婚、妊娠・出産、子育て」の切れ目ない支援をさらに進め、都市部にはない長門の魅力発信することにより人口の流入につなげていくことが重要です。

基本目標2 「つぎぎ」を生む

取組内容

- 交通アクセス改善による交流人口拡大
- 外国人観光客などの受入環境整備による交流人口創出
- 長門の豊かな観光資源を活かした交流人口拡大
- 移住・定住促進対策
- U・J・ターンの促進に向けた情報発信
- 地域のしごと支援による定住促進

基本目標3 「ひと」を育む

取組内容

- 縁結び支援
- 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

戦略の視点3 人口減少下でも活力を維持できる地域づくり

本市はすでに「超少子高齢型」の人口構成を顕著に示しており、10年後には高齢化率が約45%に達することが想定されています。これまで自治会が担ってきた集落機能の弱体化を抑制し、地域の生活基盤を支える構造を維持するために、市民活動団体などによる地域コミュニティの活性化を図るとともに地域の「活動」を持続可能な「事業」として発展、成立させていくことが重要です。

目標数値
・5年後に地域共同体設置地域面積85%

基本目標4 「まち」をつくる

取組内容

- 子育てと仕事両立できる環境づくり
- 保育園での体験活動の推進
- 食育を通じた地域子育て推進
- 体験型学習の推進
- 家庭・地域・学校の連携
- 市内高校への通学環境づくり
- 高齢者による地域貢献のための体制づくり
- 自然環境とまちなみの保全
- 情報通信網の整備・充実
- 交通弱者の移動支援
- 高齢者家庭等の買い物支援
- 生涯学習・スポーツの推進

いずれの取組でも核となる「輝く人」が「ひと」を呼び、そのひとがまた「輝くサイクル」を作ることを通じ、「やさしさ」がこだまする「子育て世代に選ばれらるまち」を目指して、地方創生に取り組みます。

「長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「長門市人口ビジョン」は市ホームページからダウンロードできます。
■問い合わせ 企画政策課 企画調整係
TEL 23・1229